

(23) 平成12年(2000年)10月29日(日曜日)

Sunday 世界日報

海底トンネルの建設訴え

世界平和青年連合 日韓の指導者ら交流



文化交流会では参加者の心が一つになった＝21日午後、都内のホテルで

二十一世紀をなう青年の健全育成を目指す「世界平和青年連合(YFWP)の日本と韓国の指導者十月中旬、日本で交流を深める機会を持った。日本YFWP(東京・南青山、稲森一郎会長)の招きで実現したもの。

韓国からの訪問団約三十人は十九日午後、東京に到着。都内のホテルで、「兄弟姉妹結縁」式も行われ、東日本各地から集まった地方議員、会社経営者、青年教育、信頼関係を築いた。

翌二十日は、都内のホテルで開かれた有識者懇親会には、国会議員、大学教授のほか、韓国民団と朝鮮総連の関係者も出席。

その中で、世界平和連合の大塚克己会長が「二十一世紀における日韓朝鮮連帯とその未来性」をテーマに

講演。「二十一世紀の前半は、韓半島の時代になる。最大の示

イントは南北統一だが、政治・経済の力だけでは困難。『共に生きたい』と願う深い民族愛が不可欠」と述べた。また大塚会長は、日本のこれから発展も韓半島との連携が不可欠として、「日韓海底トンネルの建設」ビザなし相互渡航の実現」などの重要性を訴えた。

二十一日には青年文化交流会が都内のホテルで開かれ、日本の歌や韓国伝統舞踊のほか日韓の参加者が自慢の歌声を披露し合い交流を深めた。最後に、会場の全員が手をつないで「統一の歌」を合唱、日韓友好ムードは最高潮に達した。

韓国からの参加者で蔚山広域市蔚州郡議会議長を務める卞良燮さん(金)は「過去二十年以上にわたって数え切れないほど日本を訪れた。これまでは、経済大国・日本とつき合ってきたが、今回は、日本の皆さんと『兄弟』のような関係を結ぶことができた。両国が本当に近い関係であることを実感した」と語った。

林成澤さん(四〇)(政党関係者)は「日本が嫌いだったので、自分の子どもには反日教育をしてきた。しかし、この研修ツアーに参加して、韓民族のことをこんなに

も考えてくれている日本人がいることを知り、とても感動した。国に帰ったら、この体験をぜひ伝えていきたいと話していた。

訪問団一行は、期間中、道徳・純潔教育の研修会などにも参加。関西に移動し、京都、奈良を訪れて日本の伝統文化にも触れた。二十三日、大阪市内のホテルで西日本の教育関係者らと交流し、二十四日に日本を離れた。

YFWPは一九九四年、米国ワシントンDCで創設。人種、民族、宗教などの壁を超え、新しい青年運動を展開し、世界平和実現に貢献することを目指している。九五年に日本でも創設されて以来、全国四十七都道府県に連合会を設立。各地で教育、奉仕活動などを行っている。